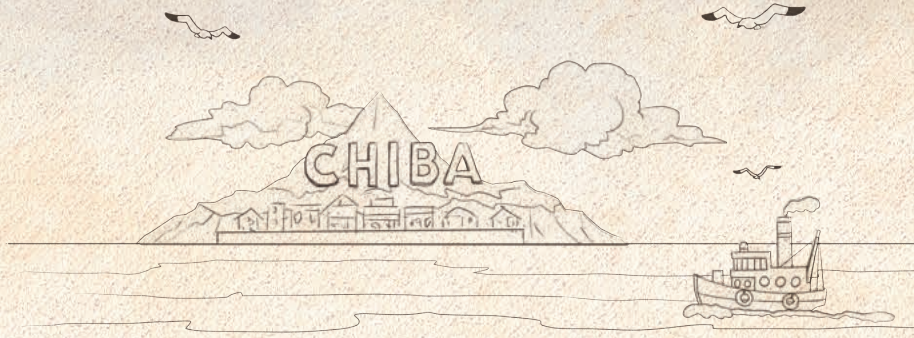


# 第4章

## 創業のかたち (事業形態)



自分のことも良くわかったし!さあ、次にすることは・・・



創業する上で「かたち」を決める必要があるんだ。

創業のかたちには、個人と法人(会社)があるよ。

どうやって事業を展開していきたいかをイメージしてみて!

個人と法人にはそれぞれメリット、デメリットがあるからよく考えてみてね。



サポの  
ワンポイント  
アドバイス

創業する上で税務関係手続、  
許認可取得等が必要になるよ。

主な許認可業種一覧は  
P36・37を参考にしてみてね。



## 個人と法人の比較

個人	事業形態	法人（会社）
<ul style="list-style-type: none"> <li>・手続きは比較的簡単</li> <li>・費用もあまりかからない</li> </ul>	創業手続き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会社設立登記が必要</li> <li>・定款認証の手続きが必要な場合がある</li> <li>・個人に比べて費用負担が大きい</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般的に法人と比べて信用力が得られにくい</li> </ul>	社会的信用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般的に個人に比べて社会的信用に優れ、信用力が得られやすい</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・帳簿や申告書類の作成は比較的簡単</li> </ul>	会計処理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・帳簿や決算書の作成が、個人に比べて複雑になる</li> <li>・税務申告を税理士に委任する会社が多い</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所得が低い場合は、法人とあまり差はない</li> </ul>	税金面	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業規模が大きくなると節税効果が高まる</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所得がそのまま事業主の報酬となる</li> </ul>	事業主の報酬	<ul style="list-style-type: none"> <li>・報酬はあらかじめ定款や株主総会等で決定する</li> <li>・役員報酬は経費となる</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業に万一のことがあった場合、事業主個人が全財産を持って弁済する責任がある</li> </ul>	事業に対する責任	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会社の形態により有限責任と無限責任があり、有限責任の場合には出資分を限度に責任を負う</li> </ul>

出典：中小企業庁編集・発行『平成30年度版夢を実現する創業』を一部編集・加工して掲載

### 第4章 まとめ

## 事業内容や規模等を総合的に考えて 創業の「かたち」を決める

個人・法人どちらが自分の行う事業に合っているのかを見極める

